

教育目標

社会の変化に対応できる「生きる力」を身に付けた児童の育成

【目指す児童像】 **かしこく（明智） やさしく（親愛） たくましく（勇氣）**

経営の基本方針

地域・保護者から信頼される学校作り ⇒同じベクトルでの学校づくり

【目指す学校像】・子どもが通いたくなる学校（居がいのある学校）

- ・保護者が通わせたい学校
- ・地域の人々が存在してほしいと願う学校
- ・職員も勤めたい学校

【スローガン】「やる気・笑顔・自信」

- (1) 全教職員が「かしこく」「やさしく」「たくましく」教育活動及び学校経営に取り組む。
- (2) 児童が「かしこく」「やさしく」「たくましく」を具体的に意識して活動に取り組めるようにする。
- (3) 学校と保護者が、児童の「かしこく」「やさしく」「たくましく」ある姿を共有して連携する。
- (4) 保育所、中学校、教育委員会及びその他の関係機関と連携して教育活動を充実させる。

本年度の努力点

★ **学力向上** ⇒**学力で学校の特色を（万小の子はこんな力がつくんだ！）**

組織として同じ授業、学力の保障を（授業スタンダード）

- 学力向上委員会を中心にした組織的・継続的な取り組みを充実させる。
 - ・ 児童の既有知識を生かす授業を展開し、児童が主体的・対話的に学べるようにする。
 - ・ 体験活動や体験的な学習を重視し、生活や社会と児童の学びをリンクさせる。
 - ・ 授業と家庭学習をリンクさせるとともに、補充学習等を通して児童の学びを支援する。
 - ・ 関係機関及び関係団体と連携しながら校内研修を充実させ、教師の指導力を高める。

◆ 心の教育

- 全教育活動を通して、道徳教育、人権教育を充実させ、豊かな心を育てる。
 - ・ 縦割り班活動や異学年交流学習を通して、思いやりの心と実践的な態度をはぐくむ。
 - ・ **児童の主体的活動を促す積極的な生徒指導を展開し、児童の自己有用感をはぐくむ。**
 - ・ 体験活動を重視した福祉教育や、具体的な活動を通じた人権教育を行う。
（児童の人権感覚、教師の人権感覚の向上）
 - ・ 汎用的な行動様式の習得等、児童の発達段階に応じたキャリア教育を計画的に行う。

◎ 健康・安全教育

- 体力向上プランを活用して、**組織的で計画的な取り組み**を充実させる。
 - ・ 体育的行事、業前、休み時間及び放課後の運動や遊びを通して、体力の向上を図る。
 - ・ 養護教諭や栄養教諭の専門性を生かして、健康教育及び食育を充実させる。
 - ・ 地域の実情に合った防災学習を展開し、**児童の安全に対する知識と技能**を高める。
 - ・ S Cや関係機関、医療機関等と連携し、一人一人のニーズに合った支援を充実させる。

○ 開かれた学校づくり（コミュニティスクールの発想で）

- ・ 地域の人材、環境資源、学校支援ボランティア等を活用し、教育活動を充実させる。
（地域を教材に・地域を教室に・地域を先生に）
 - ・ 学校通信や学級通信、ホームページや町の広報活動等を活用し、情報を発信する。
 - ・ 町教育委員会、近隣の学校及び幅広い教育機関、並びに、税務署、砂防事務所、社会福祉協議会、駐在所及び恐竜センター等の関係機関との連携を図り、教育活動を充実させる。
 - ・ 学校評議員会や学校評価等を活用して広く学校教育についての意見を受け止めるとともに評価結果等の必要な情報を開示する。
- * 情報を発信する際は、個人情報保護を遵守する。

○ 組織マネジメントの充実⇒**PDCAサイクルの活用**

- ・ 短期間での職員異動を踏まえ、校務分掌のスムーズな継続のためのシステムを活用する。
- ・ 校内研修を活用し、新指導要領及び教育に関する通知等の周知・共通理解を図る。
- ・ 服務規律確保行動計画に基づき、職員の服務規律遵守を徹底する。⇒**組織が個を変える**